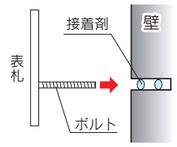
取付けガイド・裏形状

施工前にお読みください
養生テープを使用する際は、テープが直接表札に掛からないよう布または白紙（印刷物・色紙除く）で覆い、その上から固定してください。
粘着力が強いガムテープなどを使用すると、壁面を傷める恐れがあります。
また、養生テープ等を長期間貼ったまま放置されますと、製品や壁面に糊が残り、シミや汚れの原因となる場合がございますのでご注意ください。

Dタイプ
ボルト
切文字・ニューブラスアイアン等

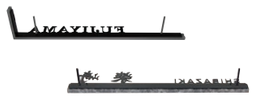


1. 壁にドリルでボルト径より
   1～2㎜大きめの穴をあけてください。
2. ボルト受け穴のホコリを清掃し接着剤を
   注入してください。
3. ボルトを差込み取付けます。

※ 接着剤がボルト穴からはみ出さないようにご注意ください。

切文字タイプの商品は、壁面より少し浮かせて
お取り付けください。

2 アクセントライン・スタイリッシュライン



ボルト M6×70L より

3 ステンレス・チタン　浮かし

ステンレスボルト M3～M6×45L より
チタンボルト M4×50L

4 真鍮・ステンレス・チタン・ニューブラスアイアン・鋳物（GE-136）

ボルト M2～M6×40L より

※タップ（めねじ）をあける場合、
板厚は 3mm 以上必要です。
タップボルト M2～M6 より

5 ニューブラスアイアン コンビネーション

ボルト
M6×45L

7 真鍮切文字（SKT-7）・ステンレス切文字（KT-80）・ニューブラスアイアン（IR-123）

ボルト
M4×50L より

ボルト
M3×30L より

ボルト
M4×40L より

9 グロリア

ボルト M4×40L より

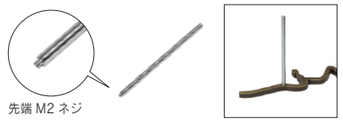
10 ヴァロン

タップボルト M3×40L

11 アクセントフレーム

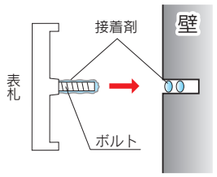
ボルト M6×70L

12 片ネジシャフト



Φ3×60L または Φ3×100L

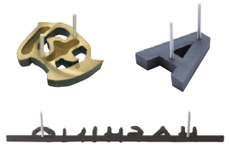
Eタイプ
鋳物・金属箱型



1. 壁にドリルでボルト径より 1～2㎜大きめの穴をあけてください。
2. ボルト受け穴のホコリを清掃し接着剤を注入してください。
3. ボルトにも接着剤を塗り、ボルトを差込み取付けます。

※ 接着剤がボルト穴からはみ出さないようにご注意ください。

1 鋳物チャンネル

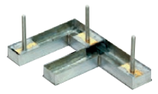


タップボルト

2 鋳物

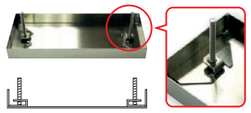
タップボルト

3 金属箱文字



ボルト付き

4 金属折曲げ

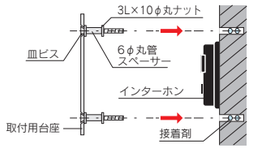


M5×60L ボルト付き

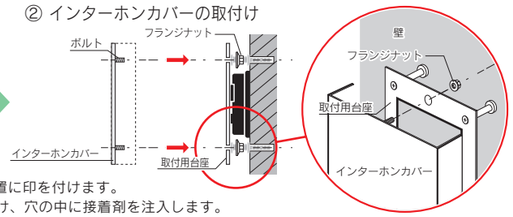
Fタイプ
インターホンサイン
インターホンカバー

台座部分　カバー部分

① 台座の取付け



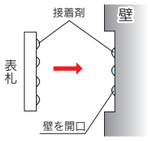
② インターホンカバーの取付け



1. 取付用台座の取付位置を決め、ボルト位置に印を付けます。
2. ボルト径より 1～2㎜ 大きめの穴をあけ、穴の中に接着剤を注入します。
3. ボルトを差込み取付けたのち、取付用台座とインターホンカバーをフランジナットで固定します。

※各タイプの参考写真です。形状、色等は商品により異なります。また商品サイズや形状を変更された際には仕様が変更となる場合がございます。

Gタイプ
埋込みで取付け

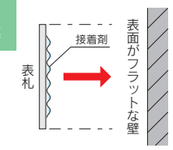


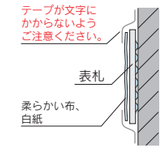
1. 壁面を電動カッターなどで開口しホコリを清掃してください。
2. 表札の裏側と開口部分に接着剤を適量塗り取付けます。
3. 表札周囲の隙間が気になる場合は、壁と同色のモルタルで目地を仕上げてください。

※布テープかマスキングテープなどで養生する際、直接文字にかからないようにご注意ください。
※接着剤が表札からはみ出さないようにご注意ください。

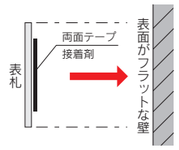
Hタイプ
金属平板 (800g 以下)
ステンレス・チタン等

接着剤で取付け

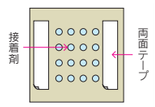




両面テープで取付け



1. 壁面をカラ拭きしてホコリを取り除いてから作業を行ってください。
2. 表札の中央部に接着剤を塗ります。
   その際、接着剤が表札からはみ出さないようご注意ください。
3. 表札が水平になるように注意しながら圧着して取付けます。
4. 表札は柔らかい布、白紙（印刷物・色紙除く）で覆い、
   布テープもしくは紙テープで固定してください。

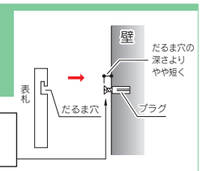


表札裏面

500円（税込 550円）

※「凸凹がある」または「表面が剥れる可能性がある」壁面の場合は使用しないでください。

Iタイプ
だるま穴で取付け
銘木表札



【引っ掛け用具】
ネジ・ビス・ボルト
タッピングビス
コンクリート釘など

1. ビス、ボルト、釘などを壁から少し出してご準備ください。
2. 表札裏のだるま穴を（1）に引っ掛けて取付けます。

※ビスなどの頭はだるま穴のサイズより小さいものをご使用ください。

たて型

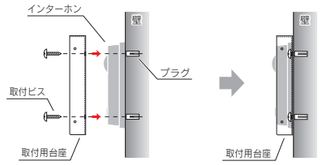
裏穴（だるま穴 ×1ヶ）

よこ型
正方形

裏穴（だるま穴 ×2ヶ）

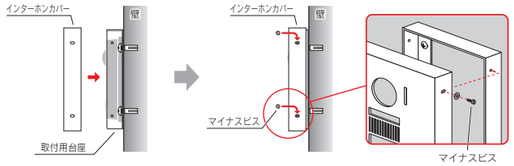
Jタイプ
インターホンサイン
インターホンカバー

台座の取付け



1. 壁にプラグよりやや大きめの下穴をあけ、切粉等を除去してください。
2. プラグを固定し、取付ビスを使って取付用台座を固定してください。

インターホンカバーの取付け

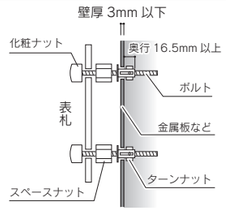


3. インターホンカバーを取付用台座に固定してください。

※下穴はプラグ本体よりやや深めにあけてください。※ビスの締めすぎにご注意ください。

中空壁への取付け
(3mm 以下の金属板など)
化粧ボルト仕様

1ヶ 500円（税込 550円）
部材のみご購入の場合は
別途送料が掛かります。



ターンナット

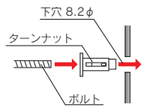
M4 ボルト用のみ
金属板などに最適

【使用条件】
板　厚：0.5～3.0mm
奥　行：16.5mm 以上必要
（板厚 1 mm の場合）
下　穴：8.2φ
ねじ径：M4
ねじ長：板厚＋13mm 以上

1. 壁の裏側に障害物がない事を確認してドリルでターンナットよりやや大きめ（8.2φ）の下穴をあけてください。
2. 下記を参照のうえ、ボルトを固定した後、表札を化粧ナットで取付けます。

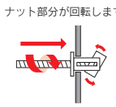
ターンナット使用方法（別売：表札と一緒にご注文ください。）

1



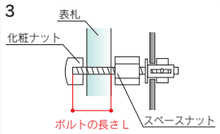
ターンナットを下穴に挿入しボルトを差込みます。

2



ボルトを差込むにつれナット部分が回転しますのでそのままボルトをねじ込んでください。

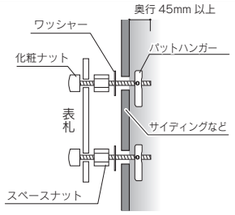
3



スペースナットをねじ込みながら
ボルトの長さ L が出るように調整
してボルトを固定します。
L＝約5mm（化粧ナットのネジしろ）＋表札の厚み

中空壁への取付け
（サイディングなど）
化粧ボルト仕様

1ヶ 500円（税込 550円）
部材のみご購入の場合は
別途送料が掛かります。



バットハンガー

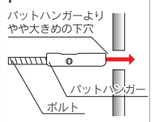
M4 ボルト用のみ
サイディングなどに最適

【使用条件】
板　厚：0.5mm～
奥　行：45mm 以上必要
下　穴：10φ
ねじ径：M4
ねじ長：板厚＋30mm 以上

1. 壁の裏側に障害物がない事を確認してドリルでバットハンガーより大きめ（10φ）の下穴をあけてください。
2. 下記を参照のうえ、ボルトを固定した後、表札を化粧ナットで取付けます。下穴がスペースナットからはみ出る時は大きめのワッシャーで穴をかくしてください。

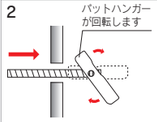
バットハンガー使用方法（別売：表札と一緒にご注文ください。）

1



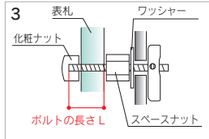
バットハンガーを図の様にボルトを付けた状態で下穴へ差込みます。

2



バットハンガーは壁の裏側に入ると自然に回転しますのでボルトを押し引きしながら回転した事を確認してボルトをねじ込んでください。

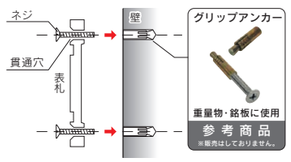
3



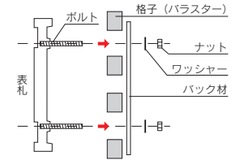
スペースナットをねじ込みながら
ボルトの長さ L が出るように調整
してボルトを固定します。
L＝約5mm（化粧ナットのネジしろ）＋表札の厚み

その他特殊な取付け

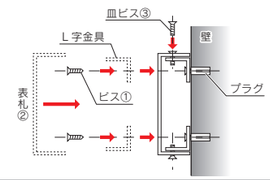
■貫通穴タイプ　【鋳物・重量物など】



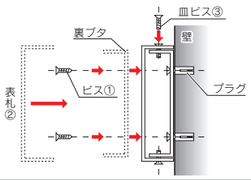
■格子・フェンス用



■金属・L 型金具



■裏ブタ構造（弁当箱方式）



※各タイプの参考写真です。形状、色等は商品により異なります。また商品サイズや形状を変更された際には仕様が変更となる場合がございます。